



# ほほえみ



発行 越谷市立病院  
 発行人 院長 丸木 親  
 編集 院内情報誌編集委員会  
 連絡先 〒343-8577  
 越谷市東越谷10-47-1  
 電話 048-965-2221 (代)  
 F A X 048-965-3019  
 発行日 平成28年1月 (No.26)

## 乳がんについて ～最近の話題～

がん治療センター長  
 三浦 弘善

国立がん研究センターがん対策情報センターの統計によれば、2011年の乳がん罹患患者数は72,472人で、女性の乳がんが第1位です。また、2013年の乳がん死亡者数は13,148名で、女性の乳がんでは大腸がん、肺がん、胃がん、膵がんについて第5位です。ここで、今年話題となったことを挙げたいと思います。

一つ目は、近隣の市に在住の有名人が乳がん罹患し、そのことをブログで公開したことです。「毎年乳がん検査を受けていたのに、分かった時にはすでに直径2cmの腫瘍になっていた」といった内容が話題

になり、多くの方が乳腺の検査を希望されて外来を受診されました。乳房の健康について関心が高まることは良いことだと思えます。乳腺の検査として先ず行われるものはマンモグラフィ検査です。マンモグラフィを用いた乳がん検診の効果は証明されていますが、若年者では、しこりなどの検出能力が低く、触診やマンモグラフィで異常が分からない場合は乳房超音波検査が行われます。今回の出来事の後から乳房超音波検査の予約数が増加し、この原稿を書いている時点で3ヶ月待ちの状態です。触診やマンモグラフィ検査の結果から乳腺の病気が強く疑われる方については個別に対応しています。

二つ目は、乳がん検診における超音波検査の有効性を検証した研究結果が東北大学の大内先生らのグループから発表されたこ

とです。対象は40歳代の女性で、マンモグラフィ検査を受けた人たちと、マンモグラフィ検査に加え超音波検査を受けた人たちとを比べたものです。マンモグラフィ検査及び超音波検査を受けた方ががんを発見しやすいが、がんではないのに精密検査を受ける人も増える、という結果でした。が見つかりやすい検査の方が優れていると思われがちですが、必要がない検査により体にダメージを受けたり、検査費用が増加したりといったことを考えると、すぐに超音波検査が乳がん検診に取り入れられるということではありません。

三つ目は、乳がんではないのですが、有名人女優が肝内胆管がんで亡くなったことが話題になりました。診断を受けたあと、「がんと闘うな」の理論で有名な先生の意見を聞いてきちんとした治療を受けず、実際に手術を受けたのは5ヶ月後だったようです。がんの中には何年も進行しないものもあると言われますが、進行するがんと進行しないがんを見分けることは困難です。がんが診断されたらきちんとした治療をぜひ受けていただきたいと思います。

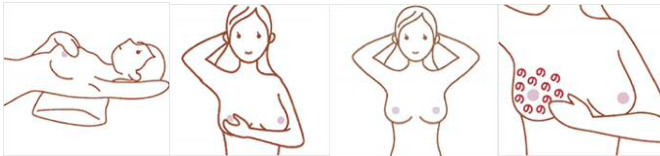
## 乳がんについて

乳がん看護認定看護師 吉田 芳

最近、テレビやインターネットなどで乳がんが取り上げられることが多く、乳がんは今話題のがんといえると思います。

乳がんは定期的な検診も大切ですが、自分で気付くことができます。これには、月1回のセルフチェックを行い続けることで、いつもとは違う乳房の変化に気付くことができます。方法は、乳房の張りが少ない月経終了後1週間の間に行ないます。閉経している方は毎月、日にちを決めて行いましょう。

- ① 4本の指で「の」の字をかくように触る
- ② 頭の後ろで手を組み、ひきつれやくぼみなどの変化がないかを調べる
- ③ 乳頭から分泌物がないか調べる
- ④ 仰向けになって触ってみる



(認定NPO法人J・POSH日本乳がんピンクリボン運動ホームページより)

しこりがあったからといって乳がんとは限りません。異常があったら怖がらずに、まずは医師に相談しましょう。

さて、乳がん看護認定看護師の役割ですが、患者様が治療の選択に悩んだ時は、一緒に治療法について考え、日常生活と折り合いをつけながら治療が継続できるようにサポートします。その他に、術後の乳房の補整や治療の副作用に対してのセルフケア、リンパ浮腫のケアの支援を行ないます。

当院では乳がん患者会「さくらんぼの会」があり、毎月第2水曜日13時から15時まで西棟ミーティングルームで開催しています。毎回、患者会のみなさんが自由にお話ししています。「同じ病気を持つ人と話しをしてみたい」「こんなときはどうしたらいいの」という悩みがある方は参加をお待ちしております。同じがんと闘っている仲間と話す、少し気持ちが軽くなるかもしれません。予約は必要なく、会への入りは自由です。

また、毎週火曜日は看護外来でリンパ浮腫看護外来を行なっています。乳がんや卵巣・子宮がんの術後のむくみでお悩みの方は、ご相談ください。



## 乳がんの病理検査について

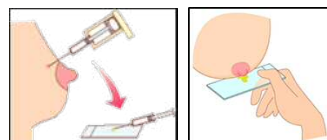
臨床検査科 副技師長 桜井 義一

乳がんの検査には、エコー検査やマンモグラフィ検査などの画像診断のほかに、病理検査があります。細胞診検査と組織診断検査とがあり、検査材料となるものは、次のとおりです。

### 〈細胞診検査の場合〉

① 異常乳汁があったときの乳頭分泌物。これは搾って出てきた分泌物をガラスに直接塗抹して細胞診の検査材料にします。

② 乳腺に腫瘍(しこり)があった場合は、その細胞。腫瘍に注射器で針を直接刺して細胞を採取し、ガラスに塗抹したものを検査材料にします。



### 〈組織診断検査の場合〉

通常より更に太い針で組織を吸引して調べられるのが組織診断の検査材料になります。組織診の材料は直接ガラスに付けるのではなく、ホルマリンという液体で固定をし、パラフィン(ろうそくの様な物)で固めて、マイクロトームという機器を使ってごく薄くスライスして、それをガラスに貼り付けたものを検査材料にします。

また、検査方法は材料を塗抹もしくは貼り付けたガラスに、赤や青などの染色液を使って色を付けます。次に顕微鏡を使って色を付けたガラス標本を詳細に観察し、良悪性かを診断し報告しています。報告までには、様々な行程があるので3〜5日間かかってしまうのが現状ですが、他の検査の迅速化に伴い病理検査も1日でも早く報告できるよう日々努力していますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

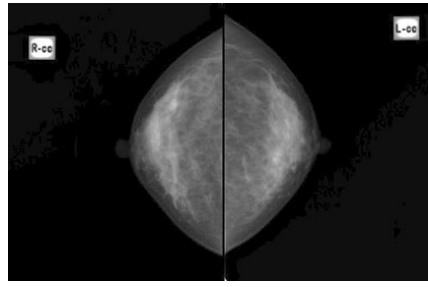
【参考資料】乳癌の症状と検査のホームページより

# マンモグラフィ検査について

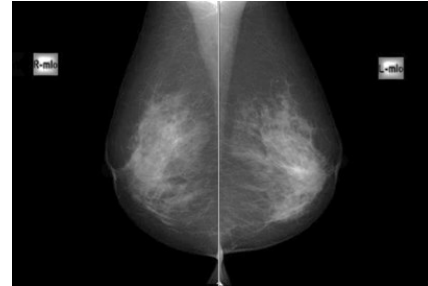
放射線科 診療放射線技師 小川 由香

マンモグラフィとは乳がんの早期発見のためのX線撮影検査です。当院のマンモグラフィ検査は、予約制で女性技師のみで行っています。検査時間は10〜15分程度です。

乳がん検診で経験したことがある方も多いと思いますが、マンモグラフィ検査は、乳房全体をギューツと挟み、圧迫して、左右それぞれ2方向ずつ撮影します。



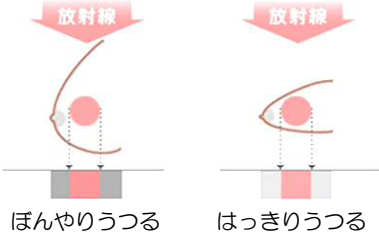
頭尾方向からの画像



内外斜位方向からの画像

では、どうして乳房を挟むのでしょうか？

乳房は立体的で厚みもあり、そのまま撮影すると乳腺や脂肪、血管などの重なりで、腫瘍が隠れてしまうことがあります。そこで乳房を挟み、圧



乳房X線撮影装置 (マンモグラフィ)

迫することで病変を見つけやすくします。また、圧迫し乳房を薄くすれば、被曝線量を減らす効果もあります。

このような理由から、乳房をできるだけ薄く挟んで固定する必要があります。

また、圧迫して撮影するので、どうしても痛みを伴うことがあります。

「マンモグラフィ検査＝痛そう」というイメージを抱いている方も多いと思いますが、実際の検査の後には「思っていたより痛くなかった」と言われる方がほとんどです。痛みの感じ方に個人差はありますが、乳房が張る生理前には検査を避けると、痛みを軽減することが可能です。男性でも受けられる検査ですので、胸の大きさに関係なく受診が可能です。

検査に対して、不安なことや気になることがありましたら、遠慮なく担当技師にご相談ください。



## 新採用医師の紹介

○10月1日付

(内科) ならはし としこ  
奈良橋 俊子

(産科) おおの もとほる  
大野 基晴

○11月1日付

(循環器科) ひき まさる  
比企 優

○12月1日付

(小児科) こばやし まさき  
小林 真紀

(小児科) いしかわ あきみ  
石川有希美

(小児科) たなか ゆうこ  
田中 裕子

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。行く年来る年、悔いは残さないよう過ごせたいでしょうか。皆さんいろいろあるでしょうが、今日から新年を生きましょう！今年は、申年です！キーキー元気に過ごしましょう。

院内情報誌編纂委員長 尾羽澤 英子